

2025 年 6 月

獣医師各位

〒151-0053

東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル  
ゾエティス・ジャパン株式会社  
コンパニオンアニマルビジネス統括部

## アルファトラック 3 の緊急安全性情報について

謹啓 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年11月より、ゾエティス・ジャパン株式会社ではアルファトラック3テストストリップスの適切な保管及び使用方法についてユーザー様にお知らせするため、「アルファトラック3を正しく利用するために」と題した案内書を配布して参りました。

しかしながら、これまでに「HI」と表示されたことから高血糖と誤って判断され、インスリンの投与を受けた結果、低血糖が生じたと考えられる事例が2件（合計 4頭）報告されました。テストストリップスが適切に保管されていない場合、湿気を吸収する可能性があり、アルファトラック3グルコースメーターがエラーコード「HI」を表示する原因となることがあります。

これを受け、弊社は一層の注意喚起をはかるため、案内書を人医療にならない『緊急安全性情報（通称イエローレター）』として更新いたします。

弊社はユーザー様への適切な取り扱いの情報伝達を通じ、当該機器をご使用中の患者様に貢献して参ります。ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

## 記

### ■ 緊急安全性情報（通称 イエローレター）

別紙参照。

アルファトラック 3 をご処方中の先生方は、犬・猫の血糖測定をご自宅で行う必要のある飼い主様に対しイエローレターをお渡しし、適切な使用についてご説明いただきますようお願い申し上げます。

### ■ 血糖測定を行う際に重要な下記の点についてご説明

1. テストストリップスの適切な保管・取り扱い
2. 「HI」のエラーコードが表示された場合のコントロール溶液による確認
3. 糖尿病と診断された犬・猫での使用において、インスリン投与量やタイミングを変更する際の  
注意点

イエローレターでは、アルファトラック 3 コントロール溶液を用いた確認について大幅に加筆いたしました。

### ■ 配布

イエローレターは 2025 年 6 月 3 日以降に弊社より出荷されるアルファトラック 3 テストストリップスに同梱されます。

動物病院様へは特約店様からのご提供を依頼しております。

### ■ アルファトラック 3 コントロール溶液

本品の使用時にコントロール溶液での確認が重要であることを踏まえ、弊社は、アルファトラック 3 コントロール溶液を同テストストリップス購入の動物病院様に無償提供させていただいております。

詳しくは、担当営業員または特約店ご担当者様にお問合せくださいませ。

以上

重要

ゾエティス・ジャパン株式会社  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7

zoetis

お客様各位

2025年5月

## 緊急安全性情報

### アルファトラック3を正しくご利用いただくために

使用前に添付文書、取り扱い説明書を読み、  
獣医師の説明・指導の下でご使用ください。

詳しくはWebへ



2024年11月より、ゾエティス・ジャパン株式会社ではアルファトラック3テストストリップスの適切な保管及び使用方法についてお客様にお知らせするため、「アルファトラック3を正しく利用するために」と題した案内書を配布しております。テストストリップスが適切に保管されていない場合、湿気を吸収する可能性があり、アルファトラック3グルコースメーターがエラーコード「HI」を表示する原因となることがあります。

しかしながら、これまでに「HI」と表示されたことから高血糖と誤って判断され、インスリンの投与を受けた結果、低血糖が生じたと考えられる事例が2件(合計4頭)報告されています。これを受け、弊社は一層の注意喚起をはかるため、「アルファトラック3を正しくご利用いただくために」の案内書を更新いたします。

アルファトラック3にて血糖を測定する際は、下記を特にご注意いただきますようお願い申し上げます。

1. テストストリップスの適切な保管・取り扱い
2. 「HI」のエラーコードが表示された場合のコントロール溶液による確認
3. 糖尿病と診断された犬・猫での使用において、インスリン投与量やタイミングを変更する際の注意点

各項目については、裏面をご確認ください。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 重要

ゾエティス・ジャパン株式会社  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7

zoetis

2025年5月

## 1. テストストリップの適切な保管・取り扱い

- アルファトラック3テストストリップは使用直前に取り出してください。
- 容器は開けたままにせず、テストストリップを取り出したらすぐに閉めてください。
- 容器には本品を保護するための乾燥剤が含まれているため、容器を移し替えずに元の容器で保管してください。
- 直射日光を避け2～32℃の乾燥した場所に保管してください。



## 2. 「HI」のエラーコードが表示された場合のコントロール溶液による確認

- 「HI」は高温または測定環境のエラーを表しますので、表示されるマークを確認してください。メーターの温度が高すぎる場合、エラーコード「HI」の上部に小さな温度計が表示されます。測定環境にエラーがある場合、「HI」血糖値エラーコードがmg/dLまたはmmol/Lの単位で表示されます。このエラーコードは、血糖値がシステム上限値750mg/dLを超えている場合にも表示されます。「HI」エラーコードが表示される場合は、コントロール溶液を用いたテストを実施してください。
- コントロール溶液で測定結果が得られない場合、またはコントロール溶液の測定結果がテストストリップの容器に表示された測定範囲内でない場合は、犬または猫の血糖値が正しく測定されていない可能性があります。別の容器のテストストリップを用いて再度検査をお試しください。
- 本品を使用して血糖値を測定する前に、アルファトラック3 コントロール溶液を用いて正常に測定できることを確認していただくことを強く推奨します。

### ● コントロール溶液のテストの方法(詳しくは取扱説明書をご確認ください)

1. グルコースメーターに新しいテストストリップを入れて電源を入れます。
2. テストする動物種コードを確認します。画面に血液とテストストリップのマークが表示されます。
3. 画面にコントロール溶液のボトルのアイコンが表示されるまで、**5**を3秒間押し続けます。
4. テストストリップの血液吸入部にコントロール溶液を吸入させます。
5. コントロール溶液のテスト結果が、テストストリップの容器に表示された測定範囲内(手順2で選択した種)に収まっていることを確認します。

## 3. 糖尿病と診断された犬・猫での使用において、 インスリン投与量やタイミングを変更する際の注意点

- インスリン投与量やタイミングは自己判断で変更せず、**獣医師の指示に従ってください。**
- 糖尿病治療中の犬・猫において、いつもの血糖値から大きく異なる値が測定された場合はインスリン等を投与する前に獣医師にご相談ください。